

兵庫県保険医協会神戸支部 研究会のご案内

医院の魅力を伝えるネット・AI活用術

～ホームページ活用、口コミ、AI 対策、SNS、YouTube 活用～

日 時 9 月 20 日 (土) 15 時～16 時 30 分

会 場 兵庫県保険医協会 5 階会議室＋オンライン
(JR・阪神元町駅東口を出て南へ徒歩 7 分)

講 師 株式会社日本経営メディカスト事業部 河村伸哉先生
※ご来場での講演となります

参加費 無料

いまや多くの患者さんが、来院前にインターネットでクリニックの情報を検索し、ウェブサイトや SNS を確認してから受診を決める時代です。

そのため、「どのようなウェブサイト・SNS を作るか」「どう運用していくか」は、医療機関にとって極めて重要な経営課題となっています。一方で、ネット上には身に覚えのない口コミや評価が掲載されるリスクもあり、「メディアリスクへの対応・管理」も不可欠です。

さらに、ChatGPT をはじめとする AI の登場・進化によって、医療情報の発信方法や患者との接点にも大きな変化が起きています。こうした変化にどう向き合い、どう対応していけばよいのか――。これまで約 3,000 件以上の医療機関のウェブサイトをプロデュースし、開業医向けの YouTube チャンネルでも情報発信を続ける河村氏を講師に迎え、実践的なお話をいただきます。ぜひ、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

* お問い合わせは TEL 078-393-1807 神戸支部担当 小西・楠まで

―― 【神戸支部研究会参加申し込み】FAX 返信：078-393-1820 ――

来場参加申し込み

地区 _____ 医療機関・施設名 _____

代表者お名前 _____ 参加人数 _____ 人 TEL _____

ZOOMによるオンライン参加申し込み

右の二次元コードもしくは下のアドレスからご登録をお願いします。
自動返信メールでアクセス方法等をお知らせします。

<https://x.gd/VCmDT>



兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

389 号

2025 年 7 月 25 日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5 F
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

4 月～6 月「初心者のための保険請求事務講習会」にスタッフら 300 人超

現場で実際に活用していきたい



田中孝明神戸支部長 (左) ・高野修一理事 (右) が
医療保険の基礎知識から具体的事例まで分かりやすく解説した

協会は 4 月～6 月に保険請求事務講習会を協会会議室とウェブ配信の併用で開催。あわせて 300 人超が参加し、保険請求の基本的なルールや診療報酬改定後の算定の留意点などを学習した。神戸支部長の田中孝明先生 (4 月・6 月) と協会理事の高野修一先生 (5 月) が講師を務めた。

講師の先生は、協会発行『保険請求の要点 2024 年度改定版』をテキストに、医療保険の基礎知識や療養担当規則の解説、診療報酬点数、カルテやレセプトについて、具体的な算定事例や注意点を交えながら説明。実際の診療内容に基づく点数・窓口負担集計とレセプト作成例を解説した。

参加者からは、「とても丁寧に算定要件が説明され、わかりやすかった」「今日の資料を振り返りながら、現場で実際に触れて習得していきたいと思います」「具体的な事例での解説があり、理解しやすかったです」など好評を得た。

(2 ページに参加者の声)

(1 ページのつづき)

♪参加者の声♪

★診療報酬点数の項目がとても丁寧に算定条件を説明されており、わかりやすかったです。また診療内容と算定事例では 1 つ 1 つの項目がどういった理由でこの算定項目になるのか詳しく説明されており、保険請求についてまだわからないことが多かったのです。

★普段は使用することがないので、あまり見たことがなかった内容についても知ることができ、よかったです。レセプト請求は病院の収入で重要部門となるため、できるだけ減点されず、返戻のないよう心がけていこうと改めて感じました。

★私は入院病棟担当なので資料に外来のことが書かれていたのでとても勉強になりました。まだ外来の計算に携わったことがないので今回の資料で勉強しながら活かしていけたらと思います。同日に算定できる・できない等たくさんのルールがありますが、それを他の人に説明できるくらいの経験を積んでいきたいと思います。貴重な機会をいただきありがとうございます。

★全体を通じて広い範囲での説明でわかりやすい内容でした。自身はレセコンシステム保守を担当しております。事務請求担当者の業務が少しはわかったと思います。講習を通じ、算定チェックの強化や、会計の改善に役立てればと考えております。慢性疾患の算定については、去年の改定から遠ざかっており、思い出せて良かったと思っています。

垂水社会保障推進協議会が学習会を開催 からだとくらしに役立つ福祉の制度を知る



知っていれば守れる命があると説明する 阿江善春先生

しかし、介護の現場ではサービスに繋がらず、殺人にまで至る不幸なケースが年間 60 件以上にのぼることも紹介しながら、利用ができていれば命が守れた様々な制度があると紹介した。また、軽度と思われる障害でも利用できる制度などを紹介し、利用を諦めないでほしいと訴えた。

参加者からは、「初めてきくことばかりで参考になった」「相談したい」など喜ばれた。

2025 年 7 月

会員、メディカルスタッフのみなさんへ

兵庫県保険医協会 第 34 回日常診療経験交流会

分科会等演題募集

メインテーマ「ネット社会の危うさと医療のかかわり」

「日常診療経験交流会」は、医療現場での日々の診療・調剤の経験・工夫や、病診（診診）連携、医科・歯科・薬科の連携の実際などを交流しあう場として毎年 1 回開催しており、午前中の分科会・ポスターセッションでご発表いただく演題を募集しております。34 回目となる今回は「ネット社会の危うさと医療のかかわり」をメインテーマとし、「ネット社会」における患者と医療者のかかわり等についても意見交換できればと考えておりますが、メインテーマに関連するものだけでなく、日常診療の取り組みについて広く演題募集いたします。医師・歯科医師・薬剤師をはじめ、医療・介護に従事する皆様のご応募を心よりお待ちしております。

演題応募要領

- 発表日時 2025 年 10 月 26 日(日) 10 時～15 時
(午前は分科会、午後は特別講演)
- 会 場 兵庫県保険医協会 会議室 (「元町駅」南へ徒歩 10 分弱)
※演題発表者は原則、来場いただきます。
- テ ー マ メインテーマ関連、医療・介護、在宅・地域医療、
病診・診診連携、医科・歯科・薬科の連携・工夫、その他
- 発表時間 1 演題 10 分 (別途、質疑応答)
- 申込方法 F A X : 裏面申込書を FAX 078-393-1820 まで
メール : o-sugimoto@doc-net.or.jp まで
- 応募締切 7/31(木)
- 演題抄録 400 字程度。8/22(金)までに上記 FAX/メールへ

<お問い合わせ> 兵庫県保険医協会 電話 078-393-1840

13 時～ 特別講演「健康格差の縮小は可能か」

千葉大学名誉教授 近藤 克則 先生